

八丈島 水産だより

8月号

2014



ハイビスカス



長野県の小学生と島の小学生との交流



島のスイカを食べました

関東地方は平年並みの「海の日」ごろの梅雨明けとなり、八丈島は良い天気が続いています。ところが、つぎつぎと発生する台風からのうねりが入り、島の西側は大きくしぶきが上がるほど荒れています。

夏休みに入り、連日多くの来島者で空港や船客待合所がにぎわっています。また、長野県や山梨県などから小中学生が訪れ、キャンプやシュノーケリング、漁業体験など、いろいろな活動を通して八丈島のことを楽しく学んでいます。

■ ムロアジ漁がはじまりました

今月1日からムロアジ（クサヤモロ）の棒受け網漁がはじまりました。

水揚げされた魚を見ると、漁のはじめのころに獲れる小さいサイズが多いようです。今年はずいぶん水温が高いので、昨年不漁だったトミメ（ナメモンガラ）も獲れています。

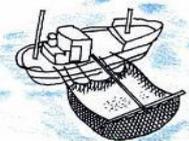
12月末までの漁の期間、天候が安定し、出漁日が増え、豊漁になることを願います。



操業のようす



クサヤモロ



棒受け網漁

■ 栄養士さんの研修を行いました



熱心な参加者



講師は女性部



あしたば畑



ムロアジ漁

都内小中学校の栄養士さんを対象とした給食用地場産物生産現場研修会が開催されました。ムロアジやアシタバがどのように漁獲、栽培されているのかを実際に見て、理解を深め、給食や食育に活用してもらうためのものです。

また、漁協女性部が講師となり、ムロアジのメンチカツやトビウオのすり身汁などの調理実習も行い、作り方のコツを学びました。